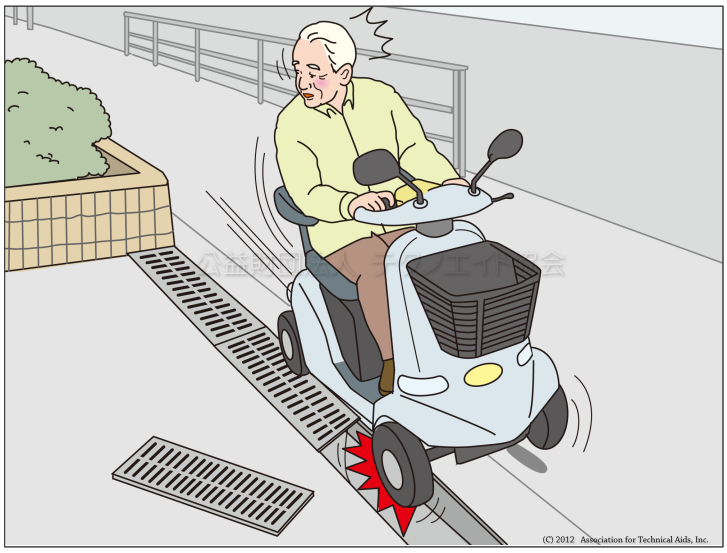
福祉用具ヒヤリハット　研修教材（講師用）

Case：165

溝に気づかず走行し、脱輪しそうになる

場面の説明

歩道にあった溝に気づかず走行してしまい、タイヤが溝にはまり込んでしまった



利用シーン	移動 外出
主な利用場所	段差・縁石
介護保険の種目	車いす
分類コード (CCTA95)	122124 (電動三輪車・電動四輪車)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

ハンドル形電動車いすは、操作自体はそれほど難しいことはなく、足腰の弱った高齢者にとって手軽な乗り物として人気があります。しかし、操作が簡単だからと言って安全なわけではありません。車両である以上は歩行者など周囲の状況や道路の凹凸などの環境を把握し、的確な判断をして運転する必要があります。発生する事故の多くは、誤った状況判断によるものであると言えるでしょう。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：よそ見をしていて前方をよく見ていなかった
環境：歩道がわずかに傾斜しており、ハンドルをとられてしまった
環境：歩道の有効幅員が狭かった

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.

福祉用具ヒヤリハット　研修教材（受講者用）

日付：	所属：	氏名：

Case：165

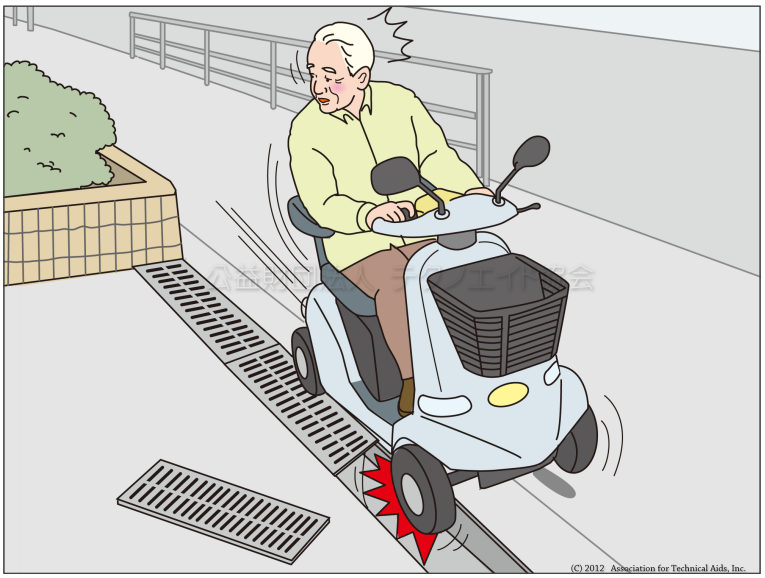
溝に気づかず走行し、脱輪しそうになる

事例詳細

回答前に見ないこと

場面の説明

歩道にあった溝に気づかず走行してしまい、タイヤが溝にはまり込んでしまった



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ

作成：公益財団法人テクノエイド協会

Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.